

容器包装リサイクル法の実施状況について

平成15年 9月 8日

産業技術環境局

リサイクル推進課

1. 分別収集及び再商品化の状況

分別収集を実施する市町村数は着実に増加、分別収集量、再商品化量の平成14年度実績についても生産量が減少しているガラスびんを除く全品目で増加している。また、指定法人実績についても着実に増加しており、制度の浸透、定着が図られてきている。

ただし、「プラスチック製容器包装」「紙製容器包装」については、増加基調にあるものの未だ高いレベルとは言えず、分別収集、再商品化を一層推進していく必要がある。

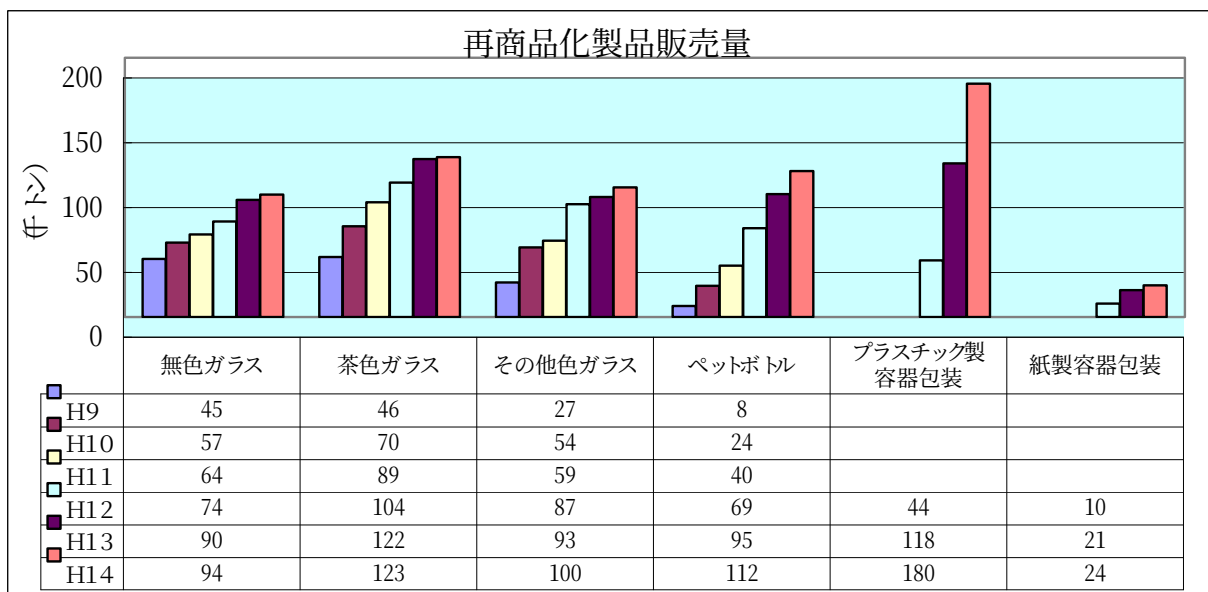
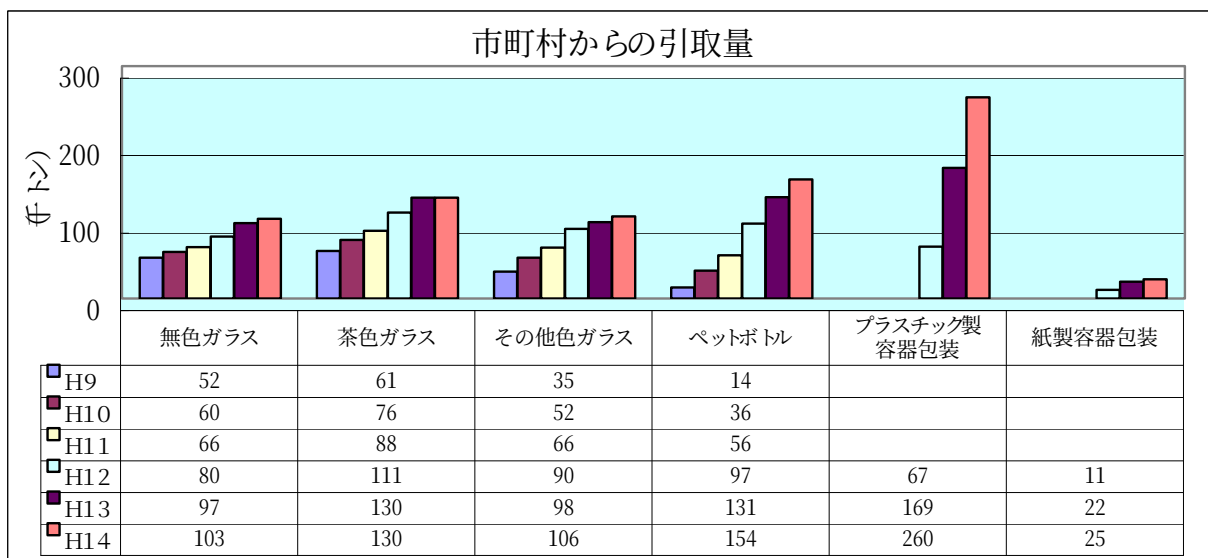
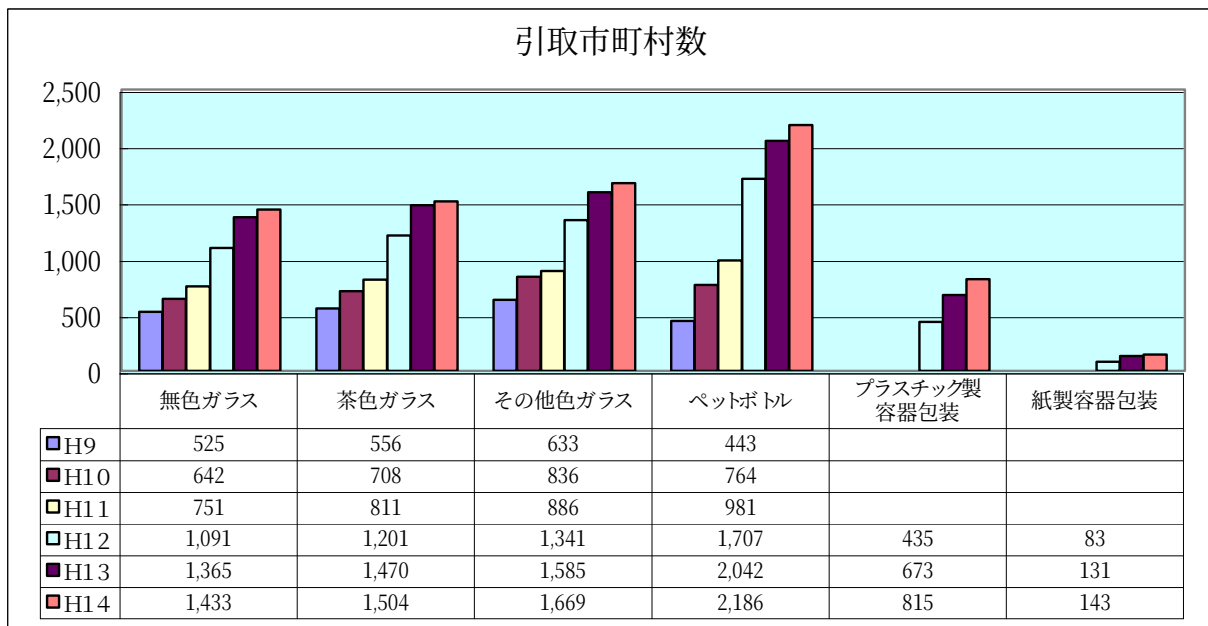
		市町村の分別収集・再商品化の実績			指定法人の引取り及び再商品化実績		
		分別収集 市町村数	分別収集量 t	再商品化量 ^{※1)} t	引取 市町村数	市町村からの 引 取 量 t	再商品化製品 販売量 t
ガラスびん 無色)	H 9	1,610	292,775	275,119	525	52,452	44,905
	H10	1,862	322,284	303,240	642	60,167	57,425
	H11	1,991	326,110	307,237	751	66,063	63,838
	H12	2,618	352,386	334,549	1,091	79,836	73,804
	H13	2,725	355,157	339,443	1,365	97,100	90,333
	H14	2,795	348,698	337,888	1,433	102,788	94,341
	※2) H15	3,108	431,395	—	1,605	120,122	—
ガラスびん 茶色)	H 9	1,610	243,916	228,170	556	61,130	46,374
	H10	1,866	274,374	256,227	708	75,621	70,157
	H11	1,992	290,127	272,559	811	87,698	88,532
	H12	2,631	312,539	294,959	1,201	111,199	103,701
	H13	2,737	311,993	298,785	1,470	129,892	121,696
	H14	2,807	304,172	293,240	1,504	130,311	123,439
	※2) H15	3,109	371,991	—	1,645	143,542	—
ガラスびん (その他色)	H 9	1,535	107,533	95,190	633	34,781	26,531
	H10	1,784	136,953	123,227	836	52,483	53,564
	H11	1,915	149,332	134,084	886	65,607	58,936
	H12	2,566	164,551	150,139	1,341	89,843	87,183
	H13	2,706	162,481	152,965	1,585	98,352	92,735
	H14	2,740	163,903	156,856	1,669	105,940	100,037
	※2) H15	3,072	197,460	—	1,891	110,875	—
ペットボトル	H 9	631	21,361	19,330	443	14,014	8,398
	H10	1,011	47,620	45,192	764	35,664	23,909
	H11	1,214	75,811	70,783	981	55,675	39,605
	H12	2,340	124,873	117,877	1,707	96,652	68,575
	H13	2,617	161,651	155,837	2,042	131,027	94,912
	H14	2,747	188,194	183,427	2,186	153,860	112,485
	※2) H15	3,027	214,190	—	2,367	185,095	—
プラスチック製 容器包装	H12	881	100,810	77,568	435	67,080	43,830
	H13	1,121	197,273	180,306	673	168,681	118,470
	H14	1,306	282,561	268,640	815	259,669	180,162
	※2) H15	2,145	486,525	—	1,263	367,124	—
紙製容器包装	H12	343	34,537	26,310	83	11,243	10,230
	H13	404	49,723	44,675	131	21,685	20,793
	H14	525	57,977	54,515	143	24,687	24,358
	※2) H15	1,431	147,566	—	269	34,776	—

出所 環境省、(財)日本容器包装リサイクル協会

※1)再商品化計画に基づき、再商品化を行う事業者に市町村が引き渡した量。

※2)市町村実績の数値は、分別収集計画。指定法人実績の数値は、契約数。

○指定法人ルートの再商品化事業推移 (グラフ)



2 指定法人ルート再商品化実績

指定法人と再商品化契約を締結した特定事業者の数は、平成14年度に63,595社と年々増加している。それに伴い、特定事業者の委託量も平成14年度に45万トンまで増加している。

一方、再商品化委託単価については、ガラスびんで、ほぼ横這い傾向を示しているものの、その他の品目については、再商品化事業者の入札による競争の影響もあり減少基調にある。

また、再商品化事業者の参入も年々増加している。

(1) 指定法人と再商品化契約を締結した特定事業者数

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
総 数	500	521	519	59,449	62,057	63,595
ガラスびん (全体)	459	476	472	3,806	3,901	3,863
無色	407	423	420	3,208	3,337	3,325
茶色	241	241	248	1,722	1,798	1,707
その他色	209	216	214	1,548	1,552	1,508
ペットボトル	198	211	201	962	1,088	1,087
プラスチック製容器包装	—	—	—	56,944	59,609	61,067
紙製容器包装	—	—	—	41,206	45,262	45,878

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会

(2) 特定事業者からの再商品化受託量 (指定法人)

単位：トン

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
ガラスびん (合計)	350,120	269,669	314,582	375,245	416,262	450,959
無色	218,790	134,883	162,094	184,713	205,579	216,254
茶色	77,529	76,620	78,910	92,992	116,760	139,364
その他色	53,801	58,166	73,578	97,540	93,923	95,341
ペットボトル	15,986	27,746	51,101	96,584	196,256	230,684
プラスチック製容器包装	—	—	—	151,470	256,428	311,801
紙製容器包装	—	—	—	47,815	90,044	105,820

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会

(3) 再商品化委託単価 (特定事業者)

単位：円／トン

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
ガラスびん (無色)	1,981	1,752	2,549	4,151	4,000	3,600
ガラスびん (茶色)	2,518	2,936	4,407	7,682	7,700	7,800
ガラスびん (その他色)	5,491	5,485	6,340	8,096	9,100	9,100
ペットボトル	101,755	101,755	95,135	88,825	83,800	75,100
プラスチック製容器包装	—	—	—	105,000	105,000	82,000
紙製容器包装	—	—	—	58,636	58,600	42,000

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会

(4) 指定法人が再商品化を委託した再商品化事業者数

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
ガラスびん	39	54	74	87	101	114
ペットボトル	29	28	36	42	51	56
プラスチック製容器包装	—	—	—	41	65	86
紙製容器包装	—	—	—	21	22	34

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会

3. ガラスびんのリサイクル状況

ガラスびんの生産が減少基調にある中、カレット利用量はほぼ横這い。これによりカレット利用率は横這い微増傾向にある。

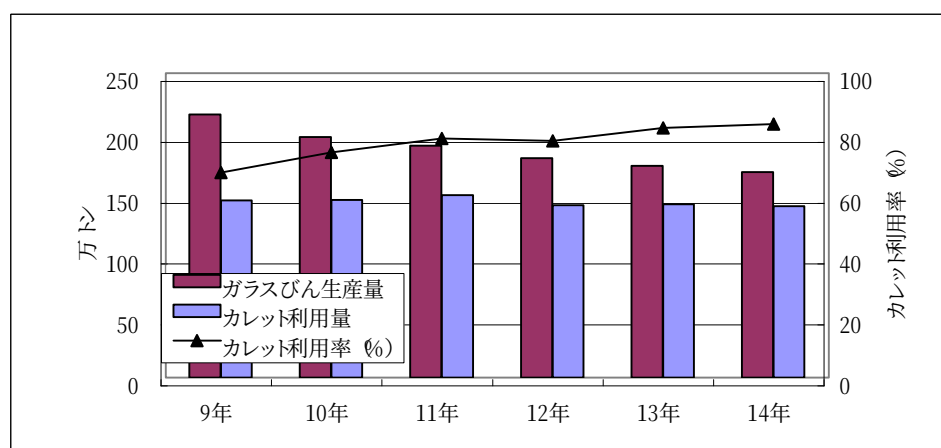
指定法人ルートのカレットの用途については、びん原料向けが平成13年度をピークとして減少に転じている一方、その他用途向けが、舗装用骨材、路盤材・埋戻し材を中心として増加傾向にある。

(1) ガラスびんの生産量及びカレットの利用量 率

単位：万トン

	9年	10年	11年	12年	13年	14年
ガラスびん生産量	216.0	197.5	190.6	180.2	173.8	168.9
カレット利用量	145.6	145.9	149.8	141.6	142.5	140.8
カレット利用率(%)	67.4	73.9	78.6	77.8	82.0	83.3

出所：雑貨統計、日本ガラスびん協会、ガラスびんフォーラム

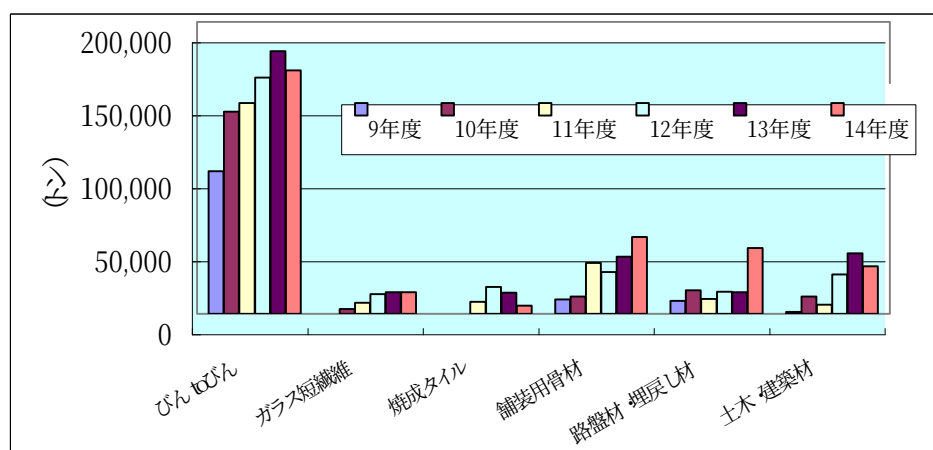


(2) カレットの用途別利用状況 指定法人ルート

単位：トン

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
びん・びん	97,806	138,383	144,485	161,988	180,083	166,653
ガラス短繊維	0	3,232	7,477	13,332	14,865	14,909
焼成タイル	0	0	8,273	18,405	14,326	5,704
舗装用骨材	9,837	11,830	34,813	28,712	39,086	52,751
路盤材・埋戻し材	8,905	15,985	10,171	15,244	14,867	45,166
土木・建築材	1,263	11,717	6,087	27,007	41,537	32,634
合 計	117,811	181,147	211,306	264,688	304,764	317,817

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会



4. ペットボトルのリサイクル状況

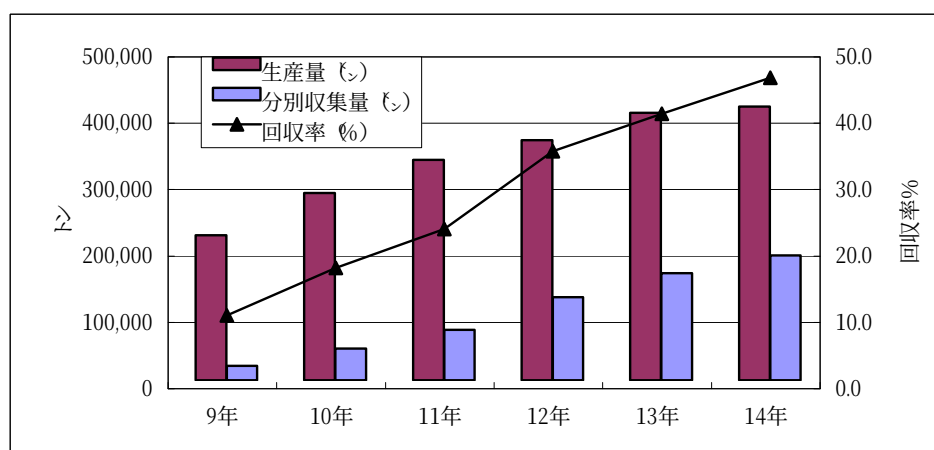
生産量が増加しているが、分別収集量も着実に増加している。容器法による再商品化が開始された平成9年度に9.8%であった回収率は、平成14年度に45.6%と大幅に増加している。

指定法人ルートでの再商品化製品用途についても、その他製品向けを除いて着実に増加している。なお、平成15年にはBtoB事業者が新規参入しており、再商品化利用の今後の動向が注目される。

(1) ペットボトルの生産量と分別収集量の推移

	9年	10年	11年	12年	13年	14年
生産量 (トン)	218,806	281,927	332,202	361,944	402,727	412,565
分別収集量 (トン)	21,361	47,620	75,811	124,873	161,651	188,194
回収率 (%)	9.8	16.9	22.8	34.5	40.1	45.6

出所：PETボトル協議会、環境省

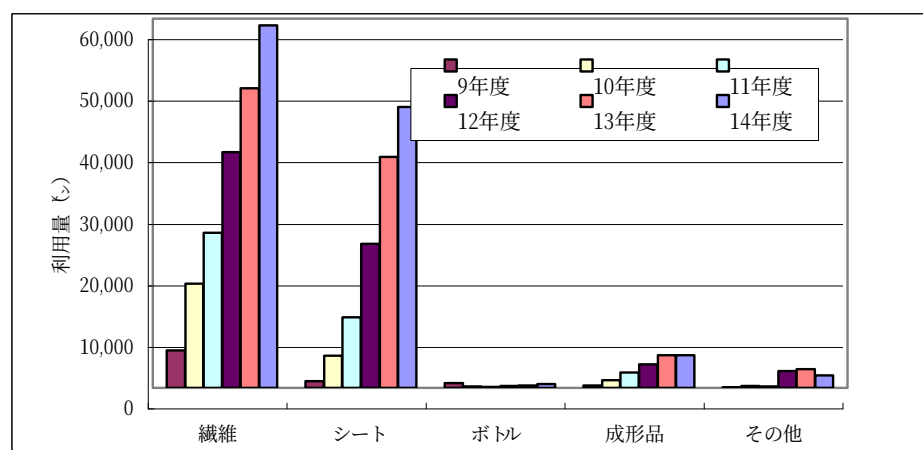


(2) 再商品化製品の用途別利用状況 指定法人ルート

単位：トン

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
繊維	6,077	16,895	25,188	38,317	48,659	58,940
シート	1,112	5,218	11,450	23,407	37,510	45,632
ボトル	756	211	179	326	381	606
成形品	366	1,265	2,530	3,802	5,330	5,314
その他	87	320	258	2,723	3,032	1,993
合計	8,398	23,909	39,605	68,575	94,912	112,485

出所：財)日本容器包装リサイクル協会



5. プラスチック容器包装再商品化製品の用途別利用状況(指定法人ルート)

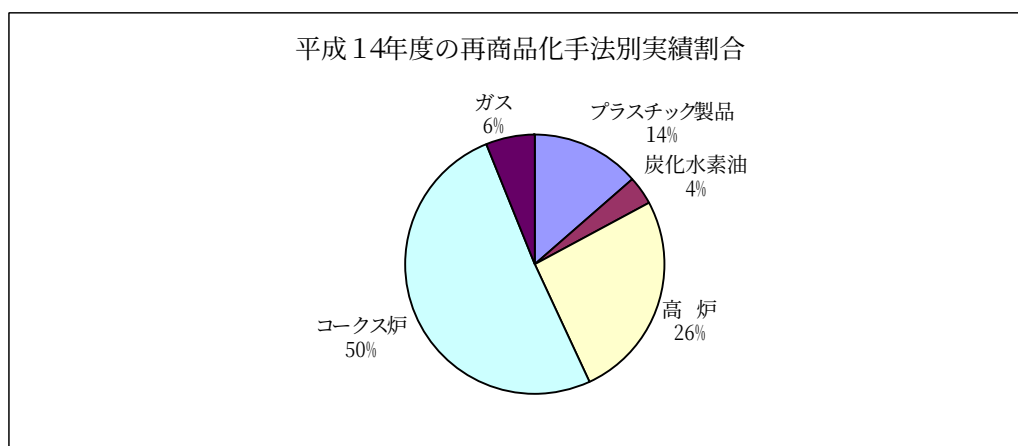
14年度利用量を13年度比でみるとプラスチック製品原材料等向けが約2.5倍と大幅に増加している他、炭化水素油を除きいずれの用途も増加している。

平成14年度の用途別割合はコークス炉化学原料が50%と引き続き大きな割合を示している。

単位：トン

	プラスチック製品 原材料等	炭化水素油	高 炉 還元剤	コークス炉 原料炭代替物	ガス	合 計
12年度	5,402	3,361	24,656	9,771	638	43,830
13年度	10,023	7,981	42,306	50,631	7,529	118,470
14年度	24,347	6,831	46,621	91,175	11,188	180,162

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会



6. 紙製容器包装再商品化製品の用途別利用状況 指定法人ルート

製紙原料以外の材料向け及び固形燃料向けが減少基調にある一方、製紙原料向けが大きく増加している。

これにより、平成12年に44%であった製紙原料向け割合は、平成14年度に83%と大幅増加となっている。

単位：トン

	製紙原料	材料 (製紙原料以外)	固形燃料	合計
12年度	4,546	2,566	3,118	10,230
13年度	15,301	1,197	4,295	20,793
14年度	20,284	157	3,917	24,358

出所：(財)日本容器包装リサイクル協会

